

使われた水は、その後どうなっているのでしょうか。

<地域にある排水処理場>



石地
アメニティライフセンター



上条地区処理場



岡田地区処理場

メタンガスは、発電設備の燃料として利用されています。

海や川の水をよごさないようにするために、自分たちにもできることはないかな。



⑤ 使われた水のゆくえ:下水道

使われた水は、自然環境浄化センターや各地区のしせつで処理されています。

しせつでは、よごれた水を微生物の力を利用して自然にもどすというを行っています。



自然環境浄化センター(安政町)

各地区にある処理場 ・門出地区 ・中川地区
 ・二田地区 ・西山南部地区 ・別山地区
 ・谷根地区 ・広田地区 ・北条地区 ・柏崎南部地区
 ・中通地区 ・平井地区 ・上条東地区 ・北鯖石地区

自然環境浄化センターの人の話

下水を処理し、よごれた水を自然に流さない努力が実り、川や海はさらにきれいになってきています。よごれた水でも、一度処理をされるときれいな水によみがえるとともに、大切な水資源に生まれ変わります。処理のときに出るメタンガスもエネルギー資源として活用しています。

このセンターが環境問題を解決するための大事な役割をはたしていくことになるでしょう。



(3) 環境にやさしいまちづくり

柏崎市では、毎年6月の第1日曜日に、全市一斉清掃美化活動「クリーンデー柏崎」を実施しています。地域の美しい景色を保つため、ごみ拾いや側溝の掃除など、多くの市民や会社の人たちが参加しています。

※町内によって実施日がちがう場合があります。

また、柏崎市では、「柏崎市環境基本計画」を定めています。わたしたちのくらす自然豊かな柏崎を将来にわたり維持するため、3つの基本目標にそって事業を推進しています。



クリーンデー柏崎

【柏崎市環境基本計画の基本目標】平成10(1998)年3月策定

- (1) 地球温暖化対策の推進
再生可能エネルギー設備を施設に入れたり、省エネ行動を推進したりすることで、地球温暖化の防止に努めます。
- (2) 資源の有効活用
3R (Reduce(リデュース):ごみを減らす、Reuse(リユース):繰り返し使う、Recycle(リサイクル):資源に再生)を推進し、ごみの量の削減に取り組みます。
- (3) 美しい自然と生活環境の維持保全
柏崎市の美しい自然を守り育てていくための取り組みを推進します。

家や地域で環境をよごさないようにするために、どんなことをしているか調べてみよう。